うれしの未来会議2025

2/10 19:30～ 大草野研修センター 市民参加（6名）

寄せられた声

- ・行政手続きは人生に何回かしかないのので、市役所窓口の効率化は一般市民にはあまり関心がない。
- ・自分の住む地域は80%ぐらいが他所の土地から来た人で、同じ行政区で暮らしているが関係性が密ではないので、行政区単位で何でも割り振りされて割り当てるよりも、その事柄に応じて賛同者を中心とした組織に変えていってほしい。
- ・小学校区について、境目に住んでいる者として、近い方であったり普段遊んでいる友達が居るほうであったりに行きたい人もいると思うので、柔軟な対応ができるまちであってほしい。
- ・区や行政から割り当てられた当職については、関心のある方がもっと関与できるようなまちになってほしい。
- ・地域運営については、主体的に携わっているのはごく少数であり、関わりが薄い人から見ると勝手にやっているように思われてしまう。
- ・大草野の買い物難民のために直売所を作りたい。生産者も地元にいるので、地産地消を進め、生産者にとっても感謝される喜びを感じられるようなことができないか。生産者はいるのに、買い物難民が発生していて何とかしたい。
- ・移動スーパー（このめの里）に巡回してもらっているが、地元の話では品ぞろえを充実させて欲しいという声を聴く。移動販売事業者に補助金を出すようなことが考えられないか。
- ・JRでは、駅のサービスランキング調査というのがあって、覆面調査官がサービス内容やトイレの状態などを調査し、できていない事柄などを後日研修するような取り組みがある。市営施設や市役所、さらに言えば民間小売店や旅館などもサービス向上のために同じような取り組みができないか。皆、一生懸命なのは感じるが、もう一言添えるだけで印象が変わると思うので、ぜひ調査・研修をやってみてほしい。
- ・自治公民館が手狭で、敬老会などのときなど「まんじゅう」を配るようなことしかできていない（大勢で集まれない）。教育環境の向上や避難所としての環境向上のため学校体育館にエアコンを設置することが検討できないか。

・企業を誘致するには、学校がしっかりしていないといけない。近隣では、武雄市は視線がより市民目線であるように感じる。デジタル化にしても、効率化できるが、デジタルを使いこなすため勉強することのほうが個人にとってより勉強になると思う。「教育で選ばれる街」や「子育て中心の街」など、市長からビジョンの表明があっても良いと思う。

・市の各種計画策定時にヒアリングをよくされるが、業者委託ばかりで、中には担当職員の姿が無い場合もある。マンパワーが足りていないのではと感じる。職員自ら計画を作ることで、その職員自体の能力が養われると思う。もっと職員が突き詰めて考えたよほうが良いように感じる。また、視線が偏らないよう幅広い年齢の職員で話す機会を作ってほしい。コンサルの使い方を考え、コンサルに丸投げしつづけず、コンサルの視点やノウハウを職員が吸収しながら自立してほしい。

・敬老会で大人数を集められる場所がない。温泉街付近へ連れていくのも費用面などから難しい。また、以前は旅館でやっているようなところもあったが、費用が高くなり利用も難しい。地区の人が多く集まれるような場所があればうれしい。

・子供が帰ってこれるように工業団地をつくるなどして企業誘致を進めてほしい。子供が減って高齢者ばかりで農業の継続や農地を守るのも厳しい。子供たちの声をもっと聞こえるまちになってほしい。

・敬老会の対象年齢を上げてても良いのではと思う。75歳から対象だが、75歳でも現役の方は多い。現役の方が多いので、コミュニティなどの担い手がなかなかいない。